

日本外来小児科学会会員の皆様へ  
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について

COVID-19 が日本全体に大きな影響を与えています。不幸にして亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族にお悔みを申し上げます。また現在治療中の患者・ご家族の皆様、濃厚接触者として活動を制限されている皆様にもお見舞いを申し上げます。

COVID-19 への対応については、日本医師会、日本環境感染症学会、日本プライマリ・ケア連合学会などから診療の手引きや対応が示されていますので、内容をよくご確認の上、診療に役立てていただきたいと思います。

さて、当学会としての「イベントへの対応」については、2020年2月27日に当学会ホームページに方針を掲載いたしました。その結果、4月5日開催予定だった第30回日本外来小児科学会年次集会春季カンファレンスを始めとして、ほとんどすべての検討会や勉強会の中止、もしくは延期が決まりました。

3月16日以降は流行状況を考慮して対応を考えることにしていましたが、現在の日本の状態をみると、少なくとも3月中は今の対応を継続することが必要だと判断しました。4月に入った時点で、再度今後の対応について学会としての方針を出させていただきます。集会を準備してくださっている皆様にはたいへん申し訳ありませんが、状況が落ち着いた際には再度の開催をご検討いただくようお願い申し上げます。

今回の COVID-19 の流行で多くの会合が中止や延期になりましたが、学会の活動は中断できません。メールでのやり取りを経て、当学会の役員選挙も告示されましたし、倫理委員会の活動も継続して行われています。

医師会などの会合が中止になっても、大きな影響がないことを実感されている会員も多いのではないかと考えていますが、今回の状況は私たちの活動内容を見直す良いチャンスと捉えることができると思います。不要な会合はないかを再検討すること、メーリングリストやeラーニングをさらに活用すること、WEB会議をツールとして利用することなどが考えられます。

会員の皆様には、ぜひ役員会へご意見をいただき、今後の学会活動の改善に力をお貸しいただきたいと願っています。また、より多くの会員にアドレス登録をしていただき、ネット環境を共有できる状態になってほしいと考えています。

この機会に、学会がさらに一歩前進できることを期待します。8月末の京都での日本外来小児科学会年次集会で、笑顔で皆様とお会いしましょう。

2020年3月19日

一般社団法人 日本外来小児科学会  
会長 横田 俊一郎